



一般会計補正予算審査

■甲南北保育園解体にかかる設計業務委託料…290万円
 新年度に解体して更地にする。
 ■雲井くもっこ児童クラブ施設整備工事費…650万円
 入所希望の増加により雲井小学校の余裕教室を活用して整備。

■土山とJR南草津駅を結ぶコミバスの国庫補助減額…183万1千円
 バス一日の平均利用者が国庫補助採択の要件(一日15人以上)を満たさなかったため、減額。
 ■市道の維持補修費…1000万円
 市道の舗装や側溝における危険個

所を早期に修繕補修するため。
 ■(仮称)甲賀北地区工業団地整備事業を延伸するため減額…2億492万4千円。
 地元の協議に時間を要し年度内執行ができないため。1月に組合設立の方向、進出企業は3社を予定。

国や県の補助事業採択や児童クラブ・水口体育館・仮称西部学校給食センターの建設事業などを盛り込んだ一般会計補正予算について18日、予算決算常任委員会で審査しました。

●防災マップ見直し

——想定もくわえる
 浸水による浸水

災害に強い街づくりの問題では、今年は記録的な猛暑、相次ぐ台風の影響、列島各地で発生する地震が相次ぎました。

山岡議員は、特に風水害の激甚化の背景に地球規模の気象変動があるととして、「従来の延長線上ではない抜本的な防災・減災対策が必要」と求めました。このなかで2017年に作成した防災マップについては「来年度見直す」と回答しました。またその際「河川氾濫による洪水想定だけでなく記録的短時間大雨などによる内水面の影響もマップに示す」と山岡議員の提案を受け入れて改善すると約束

しました。

●一時避難所見直せ

——安全な場所の確保
 浸水方向に避難所

また水口の内貫橋詰にある市営梅の木住宅住民から「堤防がないので大雨の時は増水するかもしれない」という不安という声を紹介しながら、「増水対策と一時避難所が市営住宅の集会所では問題があるのではないかと指摘しました。災害時の要援護者名簿については、対象の4割程度しか合意が得られず名簿が共有されていなかったことも明らかにしました。災害時の対応として市内公共施設への公衆無線LAN設置状況と実際の1万件近いアクセス数があることも明らかにしました。

新名神甲南PAからインターチェンジへの流出路新設を山岡光広議員が再度求める

新名神甲南PAからインターチェンジへの流出路を申請してほしい…かねてよりの願いです。議会でも何度も取り上げられてきましたが、一向にすすまないため、山岡光広議員が一般質問で再度「早急に具体化」と求めました。

これに対して建設部長は、「平成23年度から概略設計や構造及び安全対策の検討業務を実施し、西日本高速道路、県警と協議を重ねた結果、上下線とも流出経路については、一定の理解を得ることができた。事業主体となる県や連結変更許可申請先の国交省とも協議してきたが、費用対効果の見込みが見いだせないことから事業実施が非常に困難な状況になっている」と報告。今後は「甲南インターチェンジ周辺の観光振興の活性化対策等を考慮しながら引き続き協議していく」と回答しました。

構造上も安全対策も一定理解が得られたが費用対効果から事業実施は非常に困難な状況

日本共産党甲賀市議員団 議会の民主的運営に関し議長に申入れ



日本共産党甲賀市議員団は11月21日、新しい正副議長に対し「議会の民主的運営に関する申入れ」を行いました。

申し入れは、①議会役員構成については「議長は第一会派・副議長は第二会派・監査委員は第三会派」とすることや、「常任委員会等の正副委員長は会派の議席数に応じてドント方式で配置」すること、「広域行政組合議員についても配慮」すること。②議会運営については「議長は少数会派の意見もふまえて議会の総意が図れるよう努めること」。③開かれた議会運営については、本会議だけでなく委員会についても「ネット中継をする」こと、市役所一階フロアに議会の議事日程などを掲示すること。④議員の資質向上・議会活性化については「国政調査活動と同様に質問主意書制度を導入すること」や「議会の政策形成機能の向上のため事務局の充実・強化」を求めました。

ご意見・ご要望などお聞かせください/無料法律相談は、毎月第三水曜日の夜です。事前にご連絡を。無料です。